

2012年8月9日

参議院議員 徳永 エリ 様

サンルダム建設を考える集い 代表 渋谷静男
一般社団法人 北海道自然保護協会会長 佐藤 謙

サンルダム建設に係る貴職の見解における問題点を指摘し、
ご賢察を願う要望

北海道と東京を往来したご活動、ごくろうさまです。

さて、私たちは、貴職の7月24日のblogを拝見し、たいへん驚いております。それは、貴職がblogで以下のように述べているからです。「サンルダムの関係者の方々もお集まり頂き、ご要望を頂いた後、それぞれのお立場からご意見を頂きました。そして、サンルダムの現地へ。緑豊かなすばらしい環境。ダム湖を渡る橋が完成していて、すばらしい景色でした。環境保護を訴え反対の声もありましたが、北海道の最近の気象変化の中、防災、特に洪水調整や渇水の問題、まだ水道水の供給や、1000kWの水力発電に期待する地元の声もまとまり、何とか本体工事に入れるように私たちもしっかりと声をあげていかなければなりません。」

貴職は、私たちの要請に応じて、一昨年(2010年)10月3日に開催された「北海道のダム事業を検証する全国集会」でご挨拶され、「政治の課題が山積しているが、多くの地域の声を大事にして活動していく、ダムに関してはまだ勉強不足であるが、皆さんの目的が達せられるよう希望している」と述べられました。そのため、私たちは、貴職には、サンルダム・平取ダムおよび当別ダム事業に批判的な私たちの立場を理解していただいている、と考えていました。

そこで、私たちは改めて、貴職に以下の私たちの意見をご理解いただくことを考えました。私たちの意見に基づいて改めてご賢察いただければ幸いです。貴職のご意見を、北海道自然保護協会(〒060-0003 札幌市中央区北3条西11丁目 加森ビ6F 電話:011-251-5465、FAX:011-211-8465)へお寄せください。

1. 様々な考えを吟味して結論を出していただきたい

貴職は、サンルダム関係者の方々から要望をいただいたと述べていますが、この関係者はおそらくすべてサンルダム建設推進の意見をもつ人たちと推定されます。貴職もご存知のように、サンルダム事業については私たちのように、反対や批判的意見をもつ人々がすくなくありません。それにもかかわらず、一方の側の意見だけ聞いて結論を出すのが、議員としてあるべき姿なのではないでしょうか。また、サンルダム建設を推進している北海道開発局旭川開発建設部は、一貫して私たちとの意見交換・話し合いを拒否しています。そのような中で進められているサンルダム事業は、民主的に決められたものとは言えません。

別添資料1(別添の縦書き)に示すように、北海道開発局が1998年に流域5000世帯に行なったアンケートによりますと、天塩川は、安全・ある程度安全との回答が89%を占めてお

り、関連して、ダム建設が必要との回答はわずか7%に過ぎません。このダム事業は、住民の声を反映したものではないのです。したがって、貴職は、批判的意見にも耳を傾けた上でダム事業の是非について判断すべきと考えますが、残念ながら、今回は批判的意見を聞くことなく、結論を出されております。この経過は、大きな問題だと考えています。

関連して、現在サンルダム事業を継続するか中止するかを検討する「検証の場」が5回開催されましたが、この検討委員は、北海道知事と流域自治体首長からなり、すべてサンルダム建設推進の委員だけです。傍聴したところ、検討の場において出される意見は当然「早くダムをつくってほしい」という意見ばかりで、とてもダム検証の場とは言えません。そのため、新聞紙上では、北海道開発局はサンルダム継続の方向を打ち出す見込みと報道されています。しかし、真にダム必要性の是非について検証しようとするならば、異なる意見を聞かせ、どちらの意見が良いのか地域住民が判断すべきですが、そのような仕組みにはなっておりません。この仕組みを作ったのは国交省ですが、民主党が掲げた「コンクリートから人へ」のマニフェストがこの国交省の立場重視への変換によって、まったく無になったと考えています。

2. サンルダム必要性への疑問

1) 下川町はサンルダムの治水効果を受けないのにダム建設を主張している

資料2（別添資料横書き）の真ん中の名寄川・サンル川の地形図を見てください。下川町市街地は、名寄川本流の左岸（下流を見て左側）にあり、支流であるサンル川は市街地より下流で名寄川右岸から合流しています。サンルダムは、名寄川の洪水を防ぐ目的で建設が進められていますが、この地形をみてわかるように、サンル川にダムを造ったとしても、下川町市街地の名寄川本流に何ら影響なく、この市街地への洪水対策にはまったく寄与しないことは明らかです。昨年夏に、北海道開発局がパブリックコメントを求めたので、「サンルダムによって何ら影響を受けない下川町がもっとも熱心にサンルダム建設を求めているのはおかしいのではないか、このことについての開発局の見解を求める」とのパブリックコメントを出しましたが、回答はありませんでした。回答できなかったと考えられます。

2) 目標流量の過大化

目標流量とは、どの程度の洪水に耐えることを示すもので、流量で示されます。この流量が大きければダムを造る根拠になります。1964年の河川法改正までは、この目標を過去最大の流量としてきましたが、河川法の改正で、どのような流量にでも設定できるようになりました。名寄川の過去最大流量は1115m³/秒でしたが、目標流量を1500m³/秒としています。目標流量を過去最大の1115m³/秒にすればサンルダムは不要と開発局の人達は述べています。逆に、目標流量を1500m³/秒にしたのはダム建設のためと考えられます。ちなみに、ダム建設の予定のない地点の目標流量は、すべて過去最大流量か、それとほぼ同じ流量となっていますので、この設定はダム建設を目的として過大化したと判断できます。

私たちは、一步譲って1500m³/秒を認めたとしても、サンルダムは不要と考えています。資料2の一番下の図を見てください。この図は下から、青、緑、赤の線があり、赤にかぶって緑の平行の線がありますが、この平行の線は誤植ですので、ないものとお考えください。一番下の青い線は、目標流量1500m³/秒の時のダムがあったときの水位で、その上の緑の線

はダムがなかったときの水位です。ダムの水位を下げる効果がそれほど大きくないことがわかります。その上の赤い線は堤防の高さを示しています。ほとんどの地点でダムがあったとき・なかったときの水位より上にあるので、洪水は溢れないことにはなりますが、よく見ると堤防の高さが欠けているところもあります。私たちは、堤防を強化することと、心配な地点では河を掘ってより多くの水を流すことによって水害を防ぐことができると主張しています。

3) サクラマス資源の減少

サンル川は、日本でも有数のヤマメの豊富な川として知られています。ヤマメはサクラマスの子どもです。ヤマメが豊富なのは、それだけ多くのサクラマスがサンル川を遡上し、産卵することを示しています。しかし、サンルダムができればサクラマスの遡上は阻止され、ダム上流にはほとんどヤマメがいなくなる可能性が大きく、北海道の重要な漁業資源に多大な影響を与えると危惧されます。北海道開発局は、ダムに魚道を造ってサクラマスを保全すると言っていますが、沙流川の二風谷ダムでは魚道を造ったがその効果はなく、サクラマス/ヤマメは大きく減少してしまいました。

3. 農林水産業・観光事業への影響

日本の淡水魚およびサケ・アユ・サクラマス・ウナギ・アユなど海と川を行き来する魚は1960年代後半から多くの魚が大きく減少しました。最近問題になっているウナギは、乱獲も一つの原因ですが、川を遡上して成長し、海に戻って産卵するウナギにとってダム建設は一つの阻害要因となっています。サクラマスも大きく減少しました。サクラマスは、サケと同様に放流事業を行っていますが、河川に長く滞在するなど生活史が異なるため、サケのように放流事業は成功していません。サケは放流事業で減少することなく経過していますが、他の国では、遺伝的多様性を重視する立場から自然の河川で産卵させることを重視しています。アユは、サケと同じく放流事業の成果で河川環境が悪化しても減少しなかったのですが、近年急速に減少しています。その原因は不明ですが、河川環境悪化の影響も考えられます。

さて、貴職のblogを拝見しますと、以下のように、農林漁業と観光を重視されています。
●農林水産物の生産、加工、流通・販売の一体化の促進／●戸別所得補償の畑作畜産業への拡大／●漁業所得補償制度の実現／●景観保護や資源管理に基づいた伐採・造林・育林／●一次産業を軸とした北海道らしい観光資源の創造／●環境に着目した産業振興

サンルダムは、貴職が重視する農林漁業と観光にどのように寄与するのでしょうか？ サンルダム建設によって少なくともサクラマス資源は減少して、漁業には悪影響を及ぼします。また、ダム建設によって地域振興がはかられた例は知られておりません。士別市に行かれたことが書かれていますが、士別市が熱心に進めた岩尾内ダム建設では、観光業の発展が期待され、ダムサイトには多くの施設が造られましたが、結局破たんしてしまいました。私たちは、天塩川河口から200km近くも遡上してくるサクラマスと、川を育てる下川町の林業を軸に一次産業と観光を発展させることが望ましいと考えています。

貴職が、北海道の発展に情熱を傾けていることはblogから理解できますので、なぜサンルダム建設が北海道の発展に寄与するのか、今一度お考えいただきたいと強く願います。